

☑ 感度は合わせましたか？

- ▶ オモリが映る感度にする事で棚合わせがしやすくなります。

仕掛けを落としながら感度 **高** **低** を操作します。
オモリが映る程度の感度に調整します。



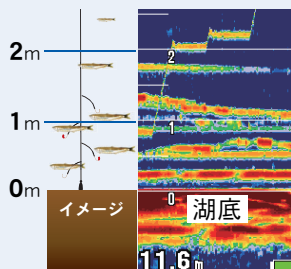
? 「うまくオモリが映らない？」

- ・ 魚探に映りにくいオモリかもしれません
- ・ 水の流れや風で仕掛けが魚探の真下からずれているかもしれません。

☑ 逆スケール表示 (拡大画面) とは

湖底0mから1m、2m、3m…と距離スケールを表示。
オモリ位置から、仕掛けの長さ、ワカサギの位置を
イメージできます。

メニュー2 ▶ 逆スケール をONにします



ワカサギモードはONになっていますか？

- ☑ かんたんボトムサーチ / 逆スケール表示 / TD08 周波数切替 などの機能が使用できるようになります。

STEP 1

<メニュー1>

輝度 [暗, ., ., ., 明]
送受信モード [停止, 1, 2, 3, 4, S]
画素サイズ [小, 大]
オートゲイン [OFF, 低, 中, 高]

深度表示 [OFF, 小, 中, 大]
底質判別 [OFF, ON]

[メニュー]:メニュー終了
[メニュー(長押し)]:メニュー2へ

STEP 2

<メニュー2>

画面分割 []
拡大率 [*2, *4, *8]
スケールイン [OFF, ON]
深度マーカー [OFF, ON]

特殊設定 >
デモ画面 [OFF, ON]
システムリセット

[メニュー]:メニュー終了

STEP 3

<特殊設定>

オートソグ最大深度 [30m]
クレーンユー [OFF, 低, 高]
パルス幅 [短, 中, 長]
吃水調整 [0.0m]
ワカサギモード [OFF, ON]
周波数 [200kHz]
ゴースト低減 [OFF, ON]
操作音 [OFF, ON]

[メニュー]:前のメニューへ

はじめに **Fn** を2回押します。
<メニュー1>が表示されるので
次は **Fn** を長押しします。

<メニュー2>が表示されます。
[特殊設定]で▶を押します。

[ワカサギモード]で**ON**を選択し
Fn を2回押すと設定完了です。
(メニュー画面が閉じます)

☑ かんたんボトムサーチはしましたか？

- ▶ その場所に合った拡大位置・水深位置にセットします。

☞ を長押しします。

画面に「水深サーチ中」の表示が約3秒です。**☞** ピー!
通常画面(右画面)と拡大画面(左画面)が
水深に合った状態になります。 **3秒**(長押し)

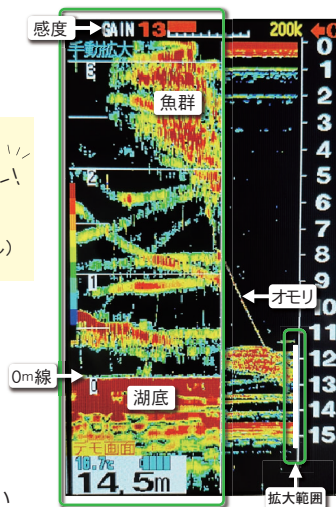
? 「うまくボトムサーチできない？」

- 魚群などほかの反応を湖底と誤認識しているかもしれません
- 水深が浅すぎる / 深すぎるかもしれません。
 - ▶ 水深が安定してから再度ボトムサーチをしてください

* 魚探画面が表示されている時のみ有効です

* 補助機能のため、サーチ後に**深度位置・拡大位置の調整**が必要です。

▶ 次項をご確認ください



左

拡大画面

右画面の白いバーの範囲を拡大して表示します

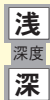
右

通常の魚探画面

深度位置・拡大位置 を手動で調整するには

☑ 深度位置

深度 **浅** **深** を押して通常の魚探画面(右画面)で湖底がなるべく下にくるように調整します。



☑ 拡大位置

▲ ▼ を押して拡大範囲を設定します。

拡大画面(左画面)を見ながら白色のバー(右画面)の位置を調整し湖底の反応と逆スケールの0m線が重なるように設定しましょう。

